

令和3年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
13	岐阜各務野高等学校

学校教育目標	<p>強くたくましい心身や豊かな人間性と社会性をもつとともに、社会の要請に対応した高い専門性を有する人材の育成を目指し、一人一人が自己実現を果たすことのできる基礎的な能力と態度の育成に努める。</p> <p>1 社会の変化に対応し、地域産業の発展を担う人材の育成に努める。</p> <p>(1) ビジネスや経済の諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展を図る総合的な能力と実践的な態度の育成。</p> <p>(2) 情報社会で活躍できる創造的な能力と実践的な態度の育成。</p> <p>(3) 人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の増進に寄与できる創造的な能力と実践的な態度の育成。</p> <p>2 豊かな人間性と高い倫理観を育み、積極的に社会に貢献できる人格の形成に努める。</p> <p>3 学習や部活動を通して、生涯にわたり健康で明るく豊かな生活が送れるよう心身の健全な発達に努める。</p>	
教育指導の重点（今年度の具体的な重点目標）	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 専門学科で学ぶ意義を理解させ、専門分野の学習を深めさせるとともに、地域や産業との関わりを通して、専門的な知識や技能の定着を図る。	<p>ビジネス科 ① 社会で信頼される人になるために、商道德を大切に心身を養い、ビジネスマナーを身に付けコミュニケーションを円滑に図れる人材に育成する。基礎基本の定着を図って商業教育の土台を作り、より高度な専門知識を習得できる授業を展開する。</p> <p>② タブレットPCとデジタル教材の利点を活かした授業を行い、より分かりやすい授業を展開する。検定試験に向けた学習では、ネット教材も活用することで問題演習を多く行い、高度資格取得へとつなげる。</p> <p>情報科 ① 専門的な学習を積み上げる Semester方式を採用し、「学習計画・記録表」等を活用することで基本的な学習姿勢を育成する。また、その成果を高度な検定（CGクリエイター検定ベーシック・ITパスポート）に合格することで生かす。</p> <p>② 新しい「情報化教育の推進」を踏まえ、情報科のすべての授業で、タブレット端末を最大限に活用することで、学習記録の管理や、成果物への運用ができるようにする。</p> <p>福祉科 ① 大学や福祉分野の専門家による講演会等を活用し専門職としての知識や技術、態度を身に付けさせ、介護福祉士国家試験及び保育技術検定取得に挑戦させる。</p> <p>② 実習の意義を理解し、介護・保育実習及び地域交流（高齢者施設、保育所や幼稚園等）を積極的に実施することにより、福祉分野の職業観・倫理観の向上を図る。</p>	<p>① 生徒による授業評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を踏まえた授業が行われている→80%以上 <p>② 難関試験の合格者数が昨年度より増加する</p> <p>① 検定1種目以上取得→100%</p> <p>② 生徒による卒業時アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校に入学してよかった→80%以上 <p>① 介護福祉士国家試験等合格→100%</p> <p>② 実習受入機関と連絡を密に取り、実習内容や目的の共有ができているか。</p> <p>② 実習先への就職につながっているか。</p>
2 豊かな人間性と高い倫理観を意識させ、生涯にわたり豊かな人間関係を築く礎となる力を身に付けさせるよう、ホームルーム活動や学校行事の充実を図る。	<p>① 全職員が生徒一人一人に声を掛け、積極的に関わりをもちながら、清楚な身だしなみ、主体的な挨拶や時間厳守等を促し、生徒の基本的な生活習慣を育成する。</p> <p>② 生徒の日常の様子や懇談、いじめに関するアンケートなどから、支援を必要とする生徒を早期に把握し、学年と教育相談担当が中心となり全職員で連携を図りながら対応する。</p> <p>③ 情報モラルセミナーや、「いじめゼロ」を目指した人権教育に関わるロングホームルームを実施することで、お互いが協力し尊重し合える人間関係の構築に努める。</p>	<p>① 校内年間遅刻総数→昨年度比20%減</p> <p>② 相談件数・相談状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒支援体制が速やかに構築されたか <p>③ セミナー後の感想文、いじめに関するアンケート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ件数→昨年度比50%減
3 生命の尊重と健全な心身を育み、明るく健康な生活を営む力を身に付けさせるよう、学習や部活動への取組みを促進する。	<p>① 救急救命講習、命を守る訓練(年3回)、防災LHRを通して、自らの生命を守る力を身に付ける。</p> <p>② HR活動や部活動を通して、仲間づくりや身体づくりを促し、最後までやり抜く精神力を養う。</p> <p>③ 毎朝生徒の健康観察を実施することで、新型コロナウイルス感染症を含む疾病等の早期発見と予防に努める。</p>	<p>① すぐメールの定着率→100%</p> <p>② 3年間継続状況率→昨年度比同率</p> <p>③ 校内年間欠席総数→昨年度比10%減</p>